

ジョブコーチ(職場適応援助者)による支援のご案内

ジョブコーチ支援とは？

ジョブコーチ(職場適応援助者)が、事業所に出向き、障害のある方や事業所の方に対して、一人ひとりの障害特性を踏まえたきめ細かい支援を行い、企業への就職や職場の定着を支援します。

こんな場合に利用してみませんか？

- * 障害をオープンにして働きたいけど、職場の人に理解してもらえないか不安
- * 職場の人とうまくやっていけるか心配
- * 通常の勤務条件で継続することができるか不安
- * 仕事を覚えることができるか不安



ジョブコーチはこのような支援をします

障害をオープンにして働きたいけど、職場の人に理解してもらえないか不安



事業所に障害や病気に関する基礎的情報を提供します。ご本人の意向を確認した上で、職場で配慮して頂きたいことを伝えます。

職場の人とうまくやっていけるか心配



ジョブコーチがご本人と職場の人との間を取り持ち、相談したり話し合いを行います。必要に応じて、職場の人に、ご本人への適切な関わり方を伝え、理解して頂けるように働きかけます。

通常の勤務条件で継続することができるか不安



勤務条件については、ご本人の負担にならないように職場の人と相談して決めていきます。短時間勤務から始め、徐々に勤務時間を延長する方法もあります。

仕事を覚えることができるか不安



作業の仕方やコツなどを助言します。必要に応じて、作業マニュアルや手順書を一緒に作成します。職場の人には、ご本人が理解しやすい指示の出し方をアドバイスします。また、話し合いによる定期的な振り返りを行い、課題を共有して不安の軽減を図ります。



独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構

島根支部 島根障害者職業センター

受付：平日 午前9時～午後5時 (土曜・日曜及び祝日はお休みです)

●住所：松江市春日町532

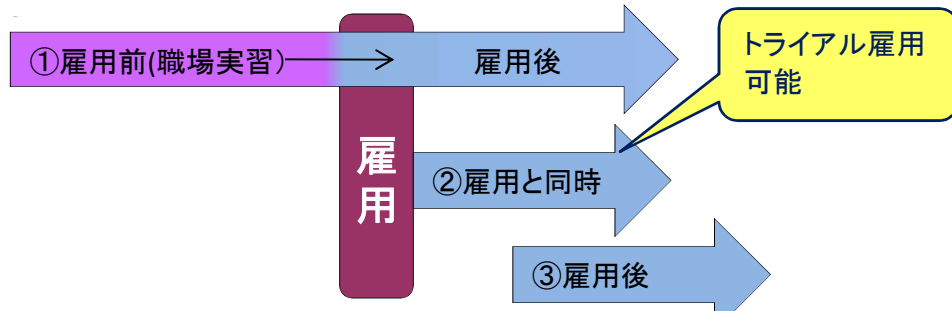
●電話：TEL (0852) 21-0900 FAX (0852) 21-1909

●E-mail：shimane-ctr@jeed.go.jp

●ホームページ：https://www.jeed.go.jp/

支援開始のタイミング

1. 雇用前支援 雇用される前の「実習期間」に支援を行う場合。(雇用後までの支援継続を含む)
2. 雇用と同時に 雇用されるのと同時に支援を開始する場合。
3. 雇用後支援 既に雇用されている障害者に不適應等の問題が生じた際に支援を開始する場合。



カウンセラーが企業を訪問し、開始時期①～③のいずれかを担当者で相談しながら設定

支援期間の長さ

支援期間は、1ヶ月以上7ヶ月以内(標準的な支援期間は2～4ヶ月程度)で個別に設定します。

ジョブコーチ支援の流れ

1.情報収集

- 事業所・障害のある方の状況把握、課題の整理
- 関係機関等の支援体制の確認

2.ケース会議

- 支援課題の明確化
- 支援方法の決定

3.支援準備

- 支援計画の説明と同意
- 打ち合わせ、書類手続き

5.フォローアップ

- 支援期間終了後も、半年～1年間のフォローアップを行います。
- 困ったことがあれば、支援期間終了後でもご相談にのります。

4.支援の実施

- 支援計画に基づいて、ジョブコーチが事業所で支援します。適宜、状況確認や支援内容を見直すため、ケース会議を実施します。

利用者の声



30代 男性
(飲食店勤務)

○仕事の手順など、職場の人から指摘されたことを、わかりやすく言い換えてくれた。
○休憩時間は、他のスタッフとコミュニケーションを取らないといけないと思い、無理してしゃべっていたが、なかなか上手くしゃべれなかった。挨拶ができていれば、休憩時間まで無理してしゃべらなくてよいと言ってもらい、気持ちが楽になった。



20代 男性
(衣料品店勤務)

○仕事の状況や人間関係の愚痴を聞いてもらうだけで、気持ちの切り替えができた。
○仕事で失敗をした時に、対処法や気持ちの切り替え方のアドバイスをもらい、気分の落ち込みもなく、休まず出勤できるようになった。



40代 女性
(介護施設勤務)

○生活リズムや人間関係で気持ちが落ち込んだとき、適切なアドバイスや声かけをもらった。体調管理の苦労や気分の波について話すだけで、気持ちが楽になった。
○仕事のやり方、進め方のペース配分等のアドバイスが参考になった。
○職場での不調や、休むときの伝え方など、具体的に教えてもらった。